

令和4年度
教育学部
学校推薦型選抜Ⅰ
学生募集要項

〔教科別推薦入試〕
〔専門・総合学科推薦入試〕
〔山梨県の小学校教員志望者推薦入試〕

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

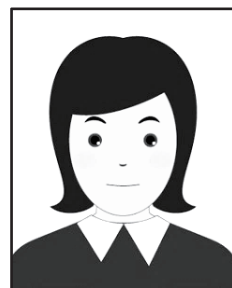
Web出願利用ガイド

出願期間内に「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

STEP 1

Web出願の事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットなど**
OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビ社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。
- ②利用可能なメールアドレス**
パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。
- ③A4サイズの印刷が可能なプリンター**
出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- ④事前に準備できる出願書類**
「調査書」や「学校長推薦書」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに高等学校等に申請手続をしてください。
- ⑤市販の角形2号封筒・郵便切手※**
封筒は出願書類の送付に必要です。郵便切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。
※郵便切手の代金は入試区分によって異なりますので、各募集要項を確認してください。
- ⑥顔写真**
3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4：横3(縦800ピクセル×横600ピクセル以上)、JPEG形式の写真を用意してください。



【適切な顔写真の例】

STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLから30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 ※出願期間中のみ登録が可能です。

画面の案内に従って出願情報(入試区分、志望コース・系、顔写真など)を登録してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキングのいずれかの支払方法を選択し、入学検定料をお支払いください。クレジットカード以外の支払方法は、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。各自で用意した角形2号封筒に「封筒貼付票」を貼付し、「出願書類等チェックリスト」(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、山梨大学入試課に提出してください。
※出願書類の提出方法は各募集要項を確認してください。



山梨大学入試
Web出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ
山梨大学 教学支援部入試課

☎055-220-8046 ✉ web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

目 次

Web 出願利用ガイド

《アドミッションポリシー》	1
A 教科別推薦入試	
1 目的	7
2 募集人員	7
3 推薦が可能な学校及び推薦人員	7
4 出願資格	8
B 専門・総合学科推薦入試	
1 目的	9
2 募集人員	9
3 推薦が可能な学校及び推薦人員	9
4 出願資格	9
C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試	
1 目的	10
2 募集人員	10
3 推薦が可能な学校及び推薦人員	10
4 出願資格	10
共 通 事 項	
1 出願手続	11
2 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	14
3 受験票の発送	14
4 選抜方法	15
5 選抜の期日及び場所	17
6 合格者の発表	17
7 一般選抜への出願	18
8 入学手続	18
9 授業料	18
10 その他の経費	18
11 不正行為に対する措置	19
12 留意事項	19
13 個人情報の取扱いについて	19
14 入学試験における感染症対応について	20

本学所定の様式（参考掲載）

様式1 多面的・総合的な評価のための申告書

様式2 学校長推薦書

様式3 活動実績報告書 ※芸術身体教育コース保健体育系の志願者のみ

様式4 活動実績報告書証明書類（表紙） ※芸術身体教育コース保健体育系の志願者のみ

※ 様式は、出願期間前から次の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ＞入試情報＞学部入試＞募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>

山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図及び周辺図

《問い合わせ先》

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

平日（月～金）8時30分～17時

（ただし、休日、祝日、夏季一斉休業（8/13～8/17）及び年末年始（12/29～1/3）を除く。）

《アドミッションポリシー》

山梨大学の入学者選抜方針

本学のアドミッションポリシーは、まず、山梨大学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、育成目標は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。入学者に求める資質能力・人物像には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。試験区分別の入学者選抜の基本方針は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。

なお、入学前に学習しておくことが期待される内容も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

＜理念・目的＞

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

＜キャッチフレーズ＞

地域の中核、世界の人材

＜教育目標＞

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

＜求める人物像＞

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人を求めます。

＜入学者に求める資質能力※＞

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

※ ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法の精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

教育学部の入学者選抜方針

＜理念・目的＞

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

＜育成目標【豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成】＞

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指しています。そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

＜求める資質・能力・人物像＞

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- ・子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- ・自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- ・国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- ・地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- ・数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- ・理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- ・外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識
- ・技能・情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- ・家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- ・音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- ・美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- ・保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

各コースの育成目標と求める能力・人物像、試験区分別の入学者選抜の基本方針

幼小発達教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、特に就学前から小学校段階の子どもの発達と教育についての深い識見を持つだけでなく、子どもとともに、また他者とともに学びながら、今日的な教育課題の解決に挑戦していける教員の養成を目指しています。

心理学、教育学そして幼児教育学などに強い関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

学校推薦型選抜I（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、幼児教育や児童・生徒の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

障害児教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的スキルを駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。

子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

学校推薦型選抜I（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

言語教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。

「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

学校推薦型選抜I（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。なお、国語教育系の志望者に英語教育について質問したり、英語教育系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。

生活社会教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。

「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

※ 「社会科教育系」では教科別推薦入試のみを実施し、「家政教育系」では教科別推薦入試と専門・総合学科推薦入試を実施します。

学校推薦型選抜I（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を志望する系（社会科教育系・家政教育系）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文は、社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性を評価します。

学校推薦型選抜II（専門・総合学科推薦入試）

家政教育系で行う本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、家庭生活と教育に関わる論題を出題し、家政教育系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。

面接では、家政教育系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性を評価します。

科学教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。

「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。

「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

※ 「数学教育系」と「理科教育系」では教科別推薦入試のみを実施し、「技術教育系」では教科別推薦入試と専門・総合学科推薦入試を実施します。

学校推薦型選抜I（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を志望する系（数学教育系・理科教育系・技術教育系）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、科学（数学または理科または技術）と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科（数学または理科または技術）に関する資質・能力を評価します。

学校推薦型選抜I（専門・総合学科推薦入試）

技術教育系で行う本選抜では、口頭試問を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のため申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、口頭試問の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

口頭試問では、コース・技術教育系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（「英語」、「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含みます。）を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

芸術身体教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化や心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。

「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。

「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

学校推薦型選抜I（教科別推薦入試）

本選抜では、実技検査と面接を志望する系（音楽教育系・美術教育系・保健体育系）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書」（保健体育系の志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

実技検査は、志望する系ごとに音楽実技、美術実技、体育実技を課し、志望する系での学習の前提となる知識・技能を評価します。

面接では、志望する系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

学校教育課程：学校推薦型選抜I（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）の基本方針

この選抜は、山梨県の小学校教員を志望する受験生を対象に、学校教育課程で募集人員を定めて実施するものです。本選抜で合格した後は、入学前教育において各コース等の説明を行い、本人の希望を聴いた上で、入学前にいずれかのコースに所属することとなります。入学後は、「山梨県の小学校教員養成特別教育プログラム」に参加します。

＜育成目標と求める能力・人物像＞

山梨県の教育指針や教育事情を広い視野をもって学び、現代的教育課題の解決に向けて主体的に取り組み、実践的な教育力とグローバル化に対応した能力を兼ね備えた山梨県の小学校教員の養成を目指します。そのため、小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭免許状、もしくは特別支援学校教諭免許状を取得します。

カリキュラムの特徴として、全学共通教育科目（一般教養科目）や学部専門科目を学ぶことに加えて、1年次では附属小学校における教育現場の実地体験、2年次では学校教育分野におけるICT活用について学びます。さらに、3年次からは小学校教育の現代的課題に関する科目、山梨の地域素材や教育事情といった地域に根差した科目を通じて学びを深めます。

このことから、児童の心身の発達やそれを支える山梨県の教育に強い関心があり、山梨県の小学校教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

学校推薦型選抜I（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや山梨県の小学校教員を志望する意思と展望が明確であるか等の評価します。

小論文では、小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、「山梨県小学校教員養成特別教育プログラム」での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

A 教科別推薦入試

1 目 的

高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）において、学業成績が良好で、本学部入学後、学業に意欲的に取り組むことができ、人物、学力ともに優れ、高等学校長の推薦を得られる生徒を対象とします。その中から、本学部の学生となるべき意欲と適性を備えている生徒を選抜し、自己の志望にかなった分野でその能力を伸ばすことができるような途を開くことを目的とします。

2 募集人員

課 程	コース	系	募集人員	備 考
学校教育課程	幼小発達教育コース		2人	同一人の出願は 1つのコース 又は系のみ とします。
	障害児教育コース		4人	
	言語教育コース	国語教育系	2人	
		英語教育系	2人	
	生活社会教育コース	社会科教育系	2人	
		家政教育系	3人	
	科学教育コース	数学教育系	2人	
		理科教育系	2人	
		技術教育系	3人	
	芸術身体教育コース	音楽教育系	2人	
		美術教育系	2人	
		保健体育系	4人	

3 推薦が可能な学校及び推薦人員

推薦が可能な学校は、全国の国公私立高等学校とし、1高等学校から推薦できる人員は、幼小発達教育コース及び障害児教育コースはコースごとに1人とし、言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースは系ごとに1人とします。

4 出願資格

次の(1)～(4)の条件を全て満たしている方とします。

- (1) 高等学校を令和3年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の学習成績の状況等が次表の範囲の方

課程	コース	系	対象となる志願者の範囲
学校教育課程	幼小発達教育コース		全体の学習成績の状況が3.5以上
	障害児教育コース		全体の学習成績の状況が3.5以上
	言語教育コース	国語教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ国語の学習成績の状況が4.0以上
		英語教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ外国語の学習成績の状況が4.0以上
	生活社会教育コース	社会科教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ地理歴史及び公民のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上
		家政教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
	科学教育コース	数学教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ数学の学習成績の状況が4.0以上、 かつ数学Ⅲを履修済み又は履修中であること
		理科教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ数学及び理科のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上
		技術教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
	芸術身体教育コース	音楽教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
		美術教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
		保健体育系	全体の学習成績の状況が3.5以上

- (3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

B 専門・総合学科推薦入試

1 目的

募集課程・コース・系を推薦の対象とする高等学校において、学業成績が良好で、本学部入学後、学業に意欲的に取り組むことができ、人物、学力ともに優れ、高等学校長の推薦を得られる生徒を対象とします。その中から、本学部の学生となるべき意欲と適性を備えている生徒を選抜し、自己の志望にかなった分野でその能力を伸ばすことができるような途を開くことを目的とします。

2 募集人員

課程	コース	系	募集人員	備考
学校教育課程	生活社会教育コース	家政教育系	1人	同一人の出願は1つの系のみとします。
	科学教育コース	技術教育系	1人	

3 推薦が可能な学校及び推薦人員

推薦が可能な学校は、全国の国公私立高等学校とし、1高等学校から推薦できる人員は、系ごとに1人とします。

4 出願資格

〔生活社会教育コース 家政教育系〕

全国の国公私立高等学校の家庭に関連する学科等、又は全国の国公私立高等学校の総合学科において、家庭に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修した方又は履修見込みの方で、かつ次の(1)～(4)の条件を全て満たしている方とします。

- (1) 高等学校を令和3年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ「家庭」に関する科目の学習成績の状況が4.0以上の方
- (3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

〔科学教育コース 技術教育系〕

全国の国公私立高等学校の農業、工業、情報に関連する学科、又は全国の国公私立高等学校の総合学科において、農業、工業、情報に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修した方又は履修見込みの方で、かつ次の(1)～(4)の条件を全て満たしている方とします。

- (1) 高等学校を令和3年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ「農業」、「工業」又は「情報」に関する科目の学習成績の状況が4.0以上の方
- (3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試

1 目 的

高等学校において、学業成績が良好で、本学部入学後、学業に意欲的に取り組むことができ、人物、学力ともに優れ、高等学校長の推薦を得られる生徒を対象とします。その中から、本学部の学生となるべき意欲と適性を備えている生徒を選抜し、山梨県の小学校教員としての素養をもった教員の養成を目的とします。

2 募集人員

課 程	募集人員
学校教育課程 山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	12 人

3 推薦が可能な学校及び推薦人員

推薦が可能な学校は、全国の国公立高等学校とし、1 高等学校から推薦できる人員は 2 人までとします。

4 出願資格

次の (1) ~ (4) の条件を全て満たしている方とします。

- (1) 高等学校を令和 3 年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の方
- (3) 本学部の学生となるのに十分な適性と山梨県の小学校教員になりたいという強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

共 通 事 項

1 出 願 手 続

(1) 出願方法 ※詳細は、「Web 出願利用ガイド」を確認してください。

次の URL から Web 出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web 出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

- ① 利用者情報、出願情報、顔写真の画像ファイルの登録
↓
- ② 入学検定料の支払い
↓
- ③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※ 出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも受付期間中に完了していない場合は、出願を受理することはできません。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料 17,000 円

・「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM (Pay-easy)、④ネットバンキング

・全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。

・出願の受理後は、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成 28 年熊本地震」、「平成 30 年 7 月豪雨」、「平成 30 年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第 15 号及び第 19 号」及び令和 2 年 4 月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望する方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) で確認してください。

(3) 出願書類

出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷して提出する書類があります。

提出書類	提出該当者	摘 要
調査書	全 員	高等学校長が発行したものを提出してください。 文部科学省所定の様式により作成し、これに高等学校長の職印及び記載責任者の印を必ず押印の上、厳封してください。
多面的・総合的な評価のための申告書	全 員	本学ホームページ*から【多面的・総合的な評価のための申告書（様式1）】をダウンロードし、作成要領に基づき作成してください。
学校長推薦書	全 員	本学ホームページ*から【学校長推薦書（様式2）】をダウンロードし、作成してください。
郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	全 員	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、344 円分の郵便切手（速達料含む）を剥がれないように貼付してください。郵便切手は過不足なく用意してください。
活動実績報告書及び 活動実績報告書証明書類	芸術身体教育コース 保健体育系の志願者 (教科別推薦入試)	様式は、本学ホームページ*からダウンロードし、使用してください。 ①作成要領に基づき、【活動実績報告書（様式3）】を作成してください。 ②作成要領に基づき、【活動実績報告書証明書類（表紙）（様式4）】及び【活動実績報告書証明書類（様式任意）】を作成してください。
指定した楽譜	芸術身体教育コース 音楽教育系の志願者 (教科別推薦入試)	本要項 16 頁の表 1 「実技検査の内容・注意事項」を参照してください。
住民票	国籍が日本国以外の方	住居地の市区町村長が交付する【住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）】を提出してください。

※ 様式 1～4 は、出願期間前から次の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ>入試情報>学部入試>募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>

(4) 出願期間

令和3年11月1日(月)～11月10日(水) 17時まで【出願期間内必着】

出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

(5) 出願書類の提出方法

① Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているかを確認した後、提出してください。

② Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から【封筒貼付票】を印刷し、各自で用意した市販の角形2号封筒(24 cm×33.2 cm)に貼付してください。

なお、高等学校で志願者が複数名いる場合は、志願者1名ごとに出願書類を封筒に封入し、それを取りまとめた別封筒の表に「教育学部学校推薦型選抜Ⅰ願書在中」と朱書きの上、簡易書留速達で郵送してください。その際、志願者氏名と志望試験区分・コース等を記載した志願者リスト(書式は任意)を添付してください。

③ 出願書類は、郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するよう郵送してください。

④ 郵送では間に合わない場合に限り、令和3年11月10日(水)9時から12時の間(時間厳守)に本学入試課窓口へ持参してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

【留意事項】

① 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。

② 出願の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。また、出願書類の返却及び内容変更も認めません。

③ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

2 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

(1) 相談の方法

病気やけが、障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前にあらかじめ教学支援部入試課に連絡の上、次の①～⑤の事項を記載した相談申請書（書式は任意）及び⑥を添付し、令和3年10月4日（月）までに教学支援部入試課へ提出してください。

なお、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る高等学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 選抜試験名、志望課程・コース・系、氏名、生年月日、出身学校
- ② 受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
- ③ 高等学校在学中にとられていた特別措置
- ④ 日常生活の状況
- ⑤ 連絡先（現住所、電話番号等）
- ⑥ 医師の診断書等、病気やけが、障がい等の状況がわかる文書又はそのコピー

(2) 相談の期限以降に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限以降に、不慮の事故等により受験上又は修学上の配慮が必要となった方は、教学支援部入試課に連絡してください。

(3) 連絡先・提出先

教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

【留意事項】

- ① 受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は必ず申し出てください。
- ② 申請後に本学へ出願しないこととなった場合又は出願後に受験を取り止めた場合には必ず連絡してください。

3 受験票の発送

受験票は、出願受付期間最終日から約3日後に発送します。令和3年11月17日（水）までに届かない場合は、教学支援部入試課に照会してください。

4 選抜方法

A 教科別推薦入試

本選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」及び「活動実績報告書（芸術身体教育コース保健体育系の志願者）」の記載内容、本学が実施する次の検査の結果を総合して判定し、合格者を決定します。

コース	系	検査の区分
幼小発達教育コース		小論文・面接
障害児教育コース		
言語教育コース	国語教育系	
	英語教育系	
生活社会教育コース	社会科教育系	
	家政教育系	
科学教育コース	数学教育系	
	理科教育系	
	技術教育系	
芸術身体教育コース	音楽教育系	
	美術教育系	
	保健体育系	

B 専門・総合学科推薦入試

本選抜では、生活社会教育コース家政教育系、科学教育コース技術教育系を志望する方について、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容及び本学が実施する次の検査の結果を総合して判定し、合格者を決定します。

コース	系	検査の区分
生活社会教育コース	家政教育系	小論文・面接
科学教育コース	技術教育系	口頭試問（「英語」、「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含みます。）

C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試

本選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容及び本学が実施する次の検査の結果を総合して判定し、合格者を決定します。

課 程	検査の区分
学校教育課程 山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	小論文・面接

表1 実技検査の内容・注意事項

(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

コース・系	実技検査の内容・注意事項
芸術身体教育コース 音楽教育系	<p>音楽実技 下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.28～No.48より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。 （暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは不要。</p> <p>Ⅱ 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲、又は声楽曲を演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合</p> <p>① 1曲又は数曲を演奏すること（10分程度）。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（左上に「ピアノ」と明記）を同封すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 日本歌曲を含む2曲を演奏すること。外国語は原語で演奏すること。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏部を伴った楽譜（左上に「声楽」と明記）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 1曲又は数曲を演奏すること（5分～10分程度）。 ② 電子オルガン（YAMAHA、ELS-01C バイタライズユニット Ver.up 済み） 以外の楽器は各自持参すること。 なお、自動伴奏機能は使わないこと。 ③ 出願時に演奏曲の楽譜（左上に曲名及び楽器名を明記）を同封すること。 ④ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
芸術身体教育コース 美術教育系	<p>美術実技 造形表現力の検査（形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、 パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。 2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>
芸術身体教育コース 保健体育系	<p>体育実技 高等学校在籍時の各種大会参加等の活動実績について、「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」を用いて実技検査とする。</p>

5 選抜の期日及び場所

期 日：令和3年11月20日（土）

集合時刻：9時30分までに必ず集合してください。

ただし、専門・総合学科推薦入試 科学教育コース 技術教育系受験者は、11時45分までに集合してください。

集 合 場 所	
甲府西キャンパス M号館 1階 M-12 教室	A 教科別推薦入試 幼小発達教育コース 言語教育コース [国語教育系・英語教育系] 生活社会教育コース [社会科教育系・家政教育系] 科学教育コース [数学教育系・理科教育系・技術教育系]
	B 専門・総合学科推薦入試 生活社会教育コース [家政教育系] 科学教育コース [技術教育系]
	C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試 山梨県小学校教員養成特別教育プログラム
甲府西キャンパス L号館C棟 2階 LC-27 教室	A 教科別推薦入試 障害児教育コース
甲府西キャンパス L号館C棟 1階 LC-17 教室	A 教科別推薦入試 芸術身体教育コース [音楽教育系・美術教育系・保健体育系]

(注1) 集合時刻から30分以内の遅刻に限り受験を認めます。

(注2) 試験終了時刻（出願者数によって変わります）は受験票送付時にお知らせします。

6 合格者の発表

日 時：令和3年12月9日（木）16時頃

発表方法：甲府西キャンパスJ号館正面入口に掲示するとともに、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）にも掲載します。（電話等による合否や受験番号の照会には応じられません。）

合格者には、合格者発表当日に合格通知書を発送し、併せて高等学校長にも志願者の合否を文書で通知します。最終的な確認は合格通知書で行ってください。

なお、合格者に対して入学前教育を実施します。

(注) 山梨大学では、合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありませんので、これに関するトラブル等があっても、本学では一切責任を負いません。

7 一般選抜への出願

不合格になった場合、本学を含む国公立大学の「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つ、合計2つの大学・学部に出願することができます。

なお、本学に出願する場合は、本選抜の出願以前に大学入学共通テストの出願が必要です。大学入学共通テストを受験した後に、本学学生募集要項（一般選抜）に従って出願することになりますが、入学検定料の免除はありません。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和4年2月16日（水）～2月21日（月）

【留意事項】

- ① 入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。
- ② 合格者で、上記の入学手続期間に入学手続を行わない方は、合格者としての権利を消失します。この場合、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）を受験しても合格者とはなりませんので注意してください。
※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照
- ③ 入学手続を完了したときは、これを取り消して、他の国公立大学・学部への入学手続を行うことは認められません。
- ④ 入学手続には、本学の受験票の提出が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 入学金

282,000円（予定）

- ・入学金は入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。
- ・入学金の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

9 授業料

前期分 267,900円 [年額 535,800円]（予定）

- ・入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・授業料は原則口座引き落としとなっています。手続については別途案内します。
- ・授業料の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

10 その他の経費

(1) 「学生保険」保険料

授業中や課外活動等、学生生活における万一の事故及びインターンシップ・教育実習等での不慮の事故により賠償責任が発生した場合などに対応できる「学生保険」への全員加入を大学の方針としております。本学で取り扱っている「学生保険」は各種あります。保険の種類及び加入方法につきましては、それぞれ保険料を含め、別途案内します。

(2) その他

上記保険料のほかに後援会費、同窓会費及び学友会費等を含めて、64,000円（4年間分）程度の経費が必要です。（教材費等は含みません。）

なお、これらの経費については変更することがあります。

11 不正行為に対する措置

次のことをすると不正行為となります。不正行為と認定された場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

- (1) Web 出願情報・出願書類に故意に虚偽の記入（本人以外の顔写真画像を登録することなど）をすること。
- (2) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
- (3) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (4) 試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- (5) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (6) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12 留意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を問わず1つの大学・学部のみです。
- (2) 合格者は、本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。ただし、特別の事情により、高等学校長から「入学辞退願」が提出され、本学学長が令和4年2月21日（月）16時30分までに入学辞退を許可した場合を除きます。
- (3) 合格者が、入学手続完了後、当該高等学校を卒業できなかった場合には、入学許可を取り消します。
- (4) Web 出願サイトの登録において、「志願者連絡先」には、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会や通知等を確実に受信できる住所及び電話番号を登録してください。なお、出願後に「志願者連絡先」が変更になった場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

13 個人情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善等に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

なお、上記業務での利用に当たり、一部の業務を本学から当該業務委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

※ 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

14 入学試験における感染症対応について

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置は原則として行いません。また、入学検定料も返還しませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。試験当日までに、「受験生に対する要請事項」を熟読してください。

ただし、令和4年度入試においては、新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験を実施しますので、詳細は、「新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について」（別途本学ホームページに掲載します）を確認してください。

受験生に対する要請事項

① 感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf



② 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診してください。

③ 受験できない方

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験を認めます（別室受験となります）。

(1) 初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること（結果が判明するまでは本試験を受験できませんので、その場合は追試験を申請してください）

(2) 受験当日も無症状であること

(3) 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来られること

※ 海外から日本に入国して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後の待機期間中は受験できません。

④ 受験の取り止め

試験日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、本学が指定する期限までに追試験受験の申請手続きを行い、当初予定していた本試験ではなく追試験を受験してください。

⑤ 試験当日における対応

発熱・咳等の症状のある受験生は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止め、その日のうちに追試験受験の申請手続きを行い、追試験を受験してください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

なお、症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では昼食時以外は常に着用してください（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は別室受験となります。「受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談」に基づき、事前に教学支援部入試課へ連絡してください。）。また、休憩時間や昼食時における他者との接触・会話を極力控えてください。

⑥ 試験当日の服装、昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、暖かい上着などを持参してください。また、試験会場の食堂（大学会館、厚生会館）は営業しませんので、昼食は持参し、自席で食事をとってください。食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。

⑦ 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望めます。

⑧ 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

⑨ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望めます（地域独自のQRコード等による追跡システムがある場合は、その利用も望めます。）。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではないことに留意してください。

※ 新型コロナウイルス感染症予防の観点から受験生以外の方は入構できません。（保護者等の控室も設置しません。）

本学所定の様式（参考掲載）

様式1 多面的・総合的な評価のための申告書

様式2 学校長推薦書

様式3 活動実績報告書 ※芸術身体教育コース保健体育系の志願者のみ

様式4 活動実績報告書証明書類（表紙） ※芸術身体教育コース保健体育系の志願者のみ

多面的・総合的な評価のための申告書 作成要領

本申告書は、本学への入学志願者に関する多面的な情報が提供されることを目的としていると同時に、入学志願者が大学で学ぶ理由を見つめなおし、自らの進路について主体的に考える機会を増やすことで、大学での学修意欲を高めるために課すものです。

なお、入学者の選抜は、本申告書だけでなく、調査書や、活動実績報告書（教育学部芸術身体教育コースにおける実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）、大学入学共通テスト、個別学力検査や面接、実技検査等の様々な観点から行います（入試区分により異なります）。選抜における本申告書の活用方法に関する詳細は募集要項を確認してください。

【 留意事項 】

1. 記載内容について

- ・志願者本人が作成してください。
- ・その他の提出書類と整合性が保たれている内容を記載してください。
（虚偽の記載が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。）
- ・各項目の記載内容に補足・補完する程度の重複があってもかまいません。
- ・図表等を用いることも可能です。
- ・A4 両面1枚（表面に1.（1）（2）を、裏面に2.（1）（2））にまとめてください。

2. 記載方法について

- ・自筆、パソコン入力を問いません。文字色は黒とし、数字は算用数字を用いてください。
ただし、自筆の場合は以下の点に注意してください。
 - －コピーではなく原本を提出してください。
 - －文字はボールペン（消せるボールペンは不可）で記入し、楷書を用いてください。
 - －記載事項を訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りをすることはせずに、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。

受験番号

※大学側で記入します。

多面的・総合的な評価のための申告書

この申告書は、入学者の選抜において、志願者を多面的・総合的に評価するためのものです。

志望する学部・課程・学科・コース等のアドミッションポリシーを参考にして記載してください。

志望学部	志望課程・学科	志望コース ※教育学部のみ 学校推薦型選抜Ⅰは系又はプログラムを記載
学部	課程 学科	コース
		系 プログラム
氏名	高等学校等名	

1. 高校入学から現在までの諸活動の記録とそこから学んだこと

- (1) これまでの学校内外の活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等）の取組、資格の取得など、主な活動実績（できるだけ具体的に）
- (2) 上記(1)から学んだこと

2. 志望理由、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後を見据えた目標など

- (1) 本申告書に記載した課程・学科・コース等を志望する理由（具体的かつ明確に）
- (2) 大学で学びたい内容、それを卒業後の人生でどう活かしたいと考えているか

※ 記載方法は、自筆、パソコン入力を問いません。

受験番号

学校長推薦書

令和 年 月 日

山梨大学長 殿

学校名

高等学校

中等教育学校

学校長氏名

職印

貴大学教育学部の学校推薦型選抜Ⅰを受験する生徒として、下記の者をふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。

なお、下記の者は、本年度において、他の国公立大学の学校推薦型選抜への出願はいたしません。

記

氏名 _____

平成 年 月 日生

令和 年 月 卒業・卒業見込

試験区分 (○で囲んでください。)	志望課程	志望コース・系	
A 教科別推薦入試 B 専門・総合学科推薦入試 C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試	学校教育課程	コース	系
		※試験区分が「C」の場合は記入不要です。	
学習成績の状況	全 体	各系が指定する教科	
「数学Ⅲ」の履修状況 ※科学教育コース数学教育系の志願者のみ記入	「数学Ⅲ」の履修学年	「数学Ⅲ」の代替科目又は対応科目 (「理数数学Ⅰ」、「理数数学Ⅱ」など)	
	年		
人物・生活態度	項 目	評価	
	学問的資質 (論理的思考力・創意工夫など)		
	学問及び生活上の向上心 (積極性・意欲など)		
	自律能力 (自主性・忍耐力・勤勉さなど)		
	社会性 (指導力・協調性など)		

活動実績報告書・活動実績報告書証明書類（表紙） 作成要領

活動実績報告書は、芸術身体教育コース保健体育系の実技検査として使用するものです。本作成要領に基づき、高等学校長が作成してください。

1. 「主な種目名・活動実績名等」欄は、主となる種目名・活動実績名を一つだけ記入してください。
2. 「参加大会名等」欄は、高等学校在籍時に出場した全国・ブロック・県及び地区の各大会等の中で、主要な実績の正式名称を記入してください（4つ以内）。
3. 「開催地・開催年月」欄は、活動を行った場所・開催年月を記入してください。
4. 「成績・記録・参加状況等」欄は、順位等の成績をできるだけ具体的に記入してください。
（優勝、ベスト8、2回戦敗退（ベスト32）、奨励賞受賞など）
5. 「学年」欄は、該当する学年を記入してください。
6. 「本人が果たした役割」欄は、ポジション、役割、貢献度（大会等の出場実態：スターティングメンバー、途中交代、リザーブで出場なし等）をできるだけ具体的に記入してください。
7. 「その他」欄は、特筆すべき活動実績がある場合に記入してください。
8. 記入した活動実績すべてについて、「様式4 活動実績報告書証明書類（表紙）」の作成上の注意に従って、上記2～6の内容が証明される書類（本人が大会等で実際に活動（競技・演技）したことがわかる個人名が明記された書類又はそのコピー）を必ず添付してください。

※ 活動実績報告書証明書類の該当箇所には蛍光ペン等でマークを付してください。

※ 成績と個人名のある賞状・公式記録・主催団体の証明書のほか、大会名・成績・個人の出場記録のすべてが記載されている新聞や専門雑誌などでも構いません。

※ スコアブック等で本人の出場状況を示す場合には、それが公式記録と一致していることが主催団体によって証明されているものに限ります。

※ エントリーシートや大会プログラムは不可とします。

※ 証明書類が添付できない場合は、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。

※ 提出した証明書類は返却できません。
9. 活動実績がない場合は、「その他」欄に「活動実績なし」と記入の上、本報告書を提出してください。
この場合、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。
10. 手書き、パソコン入力を問いません。文字色は黒とします。
11. 受験番号欄は大学側で記入します。

活動実績報告書

フリガナ		性別	受験番号
氏名		男・女	
生年月日		身長	体重
平成	年 月 日	cm	kg

主な種目名・活動実績名等					
資料番号	参加大会名等	開催地・開催年月	成績・記録・参加状況等	学年	本人が果たした役割
1		(年 月)		年	
2		(年 月)		年	
3		(年 月)		年	
4		(年 月)		年	
その他					

本書の記載事項に誤りがなく、様式4「活動実績報告書証明書類」に不備がないことを証明する。

学校名 _____

学校所在地 _____

学校長名 _____

職印

記入年月日 令和 年 月 日

活動実績報告書証明書類（表紙）

活動実績報告書 資料番号			
氏名	受験 番号	証明書類の有無	有・無
参加大会名等			
証明書類が 添付できない理由			
令和	年	月	日
証明書類に不備がないことを証明する。		記載者役職名	_____
		記載者氏名	_____ ㊞

【作成上の注意】

- 活動実績報告書証明書類はA4用紙に統一してください。様式3の活動実績報告書に記入した資料番号に合わせ、この用紙を表紙として左上をホチキスで綴じてください。
- 記載者は出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者とします。
- 証明書類は志願者本人の責任で決めてください。
- 証明書類が無い場合は、出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者が、「証明書類が添付できない理由」を具体的に記入してください。
- 受験番号欄は大学側で記入します。

..... 〈 切り取り線 〉

活動実績報告書証明書類（表紙）

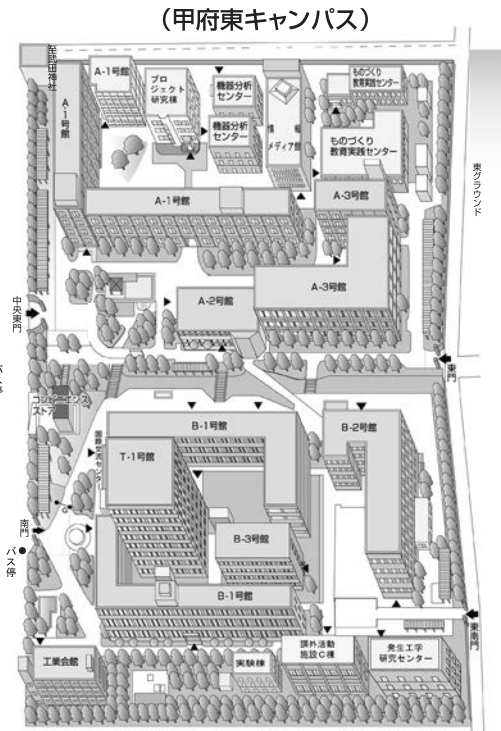
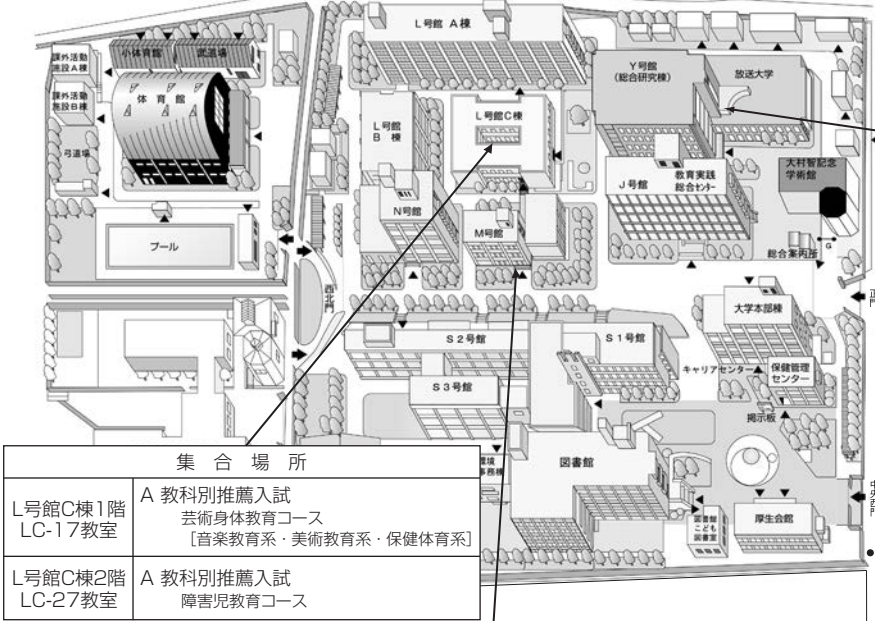
活動実績報告書 資料番号			
氏名	受験 番号	証明書類の有無	有・無
参加大会名等			
証明書類が 添付できない理由			
令和	年	月	日
証明書類に不備がないことを証明する。		記載者役職名	_____
		記載者氏名	_____ ㊞

【作成上の注意】

- 活動実績報告書証明書類はA4用紙に統一してください。様式3の活動実績報告書に記入した資料番号に合わせ、この用紙を表紙として左上をホチキスで綴じてください。
- 記載者は出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者とします。
- 証明書類は志願者本人の責任で決めてください。
- 証明書類が無い場合は、出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者が、「証明書類が添付できない理由」を具体的に記入してください。
- 受験番号欄は大学側で記入します。

(甲府西キャンパス)

山梨大学 (甲府キャンパス)
建物配置図



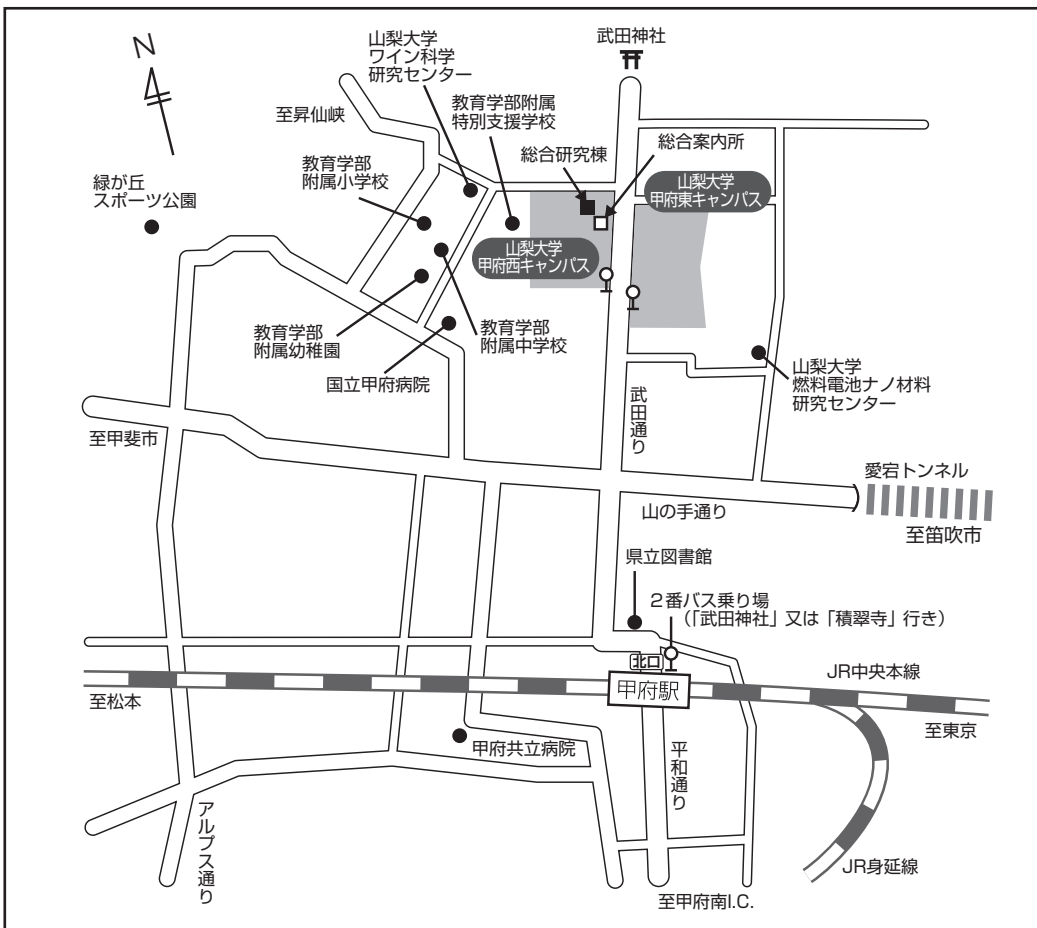
集 合 場 所	
L号館C棟1階 LC-17教室	A 教科別推薦入試 芸術身体教育コース 〔音楽教育系・美術教育系・保健体育系〕
L号館C棟2階 LC-27教室	A 教科別推薦入試 障害児教育コース

集 合 場 所	
M号館1階 M-12教室	A 教科別推薦入試 幼小発達教育コース 言語教育コース〔国語教育系・英語教育系〕 生活社会教育コース〔社会科教育系・家政教育系〕 科学教育コース〔数学教育系・理科教育系・技術教育系〕
	B 専門・総合学科推薦入試 生活社会教育コース〔家政教育系〕 科学教育コース〔技術教育系〕
	C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試 山梨県小学校教員養成特別教育プログラム

山梨大学 (甲府キャンパス) 周辺図

J R 甲府駅下車、北口から徒歩約15分

J R 甲府駅下車、北口からバスで約5分 (「武田神社」又は「積翠寺」行き)「山梨大学」下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。